【報道関係各位】

2015年8月3日

子どもや子育てを支援する、より良い未来に働きかけるデザイン

『第9回キッズデザイン賞』 最優秀賞はじめ36作品紹介

キッズデザイン協議会<内閣府認証NPO、会長：和田勇（積水ハウス株式会社 代表取締役会長 兼 CEO）>は、製品・施設・サービス・研究活動などを対象に、子どもたちの安全・安心、健やかな成長発達に役立つデザインを顕彰する「第9回キッズデザイン賞」受賞作品308点の中からより優れた作品として、最優秀賞・優秀賞・奨励賞・特別賞など36点を決定いたしました。

■最優秀賞「内閣総理大臣賞」（1点）

全受賞作品の中から最も優れた作品として

★「子どもの未来デザイン　感性・創造性部門」より、

【ルナ ドリームカプセル プロジェクト】（ルナ ドリームカプセル プロジェクト）

■優秀賞「経済産業大臣賞」（4点）

【子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン】として

★「子ども視点の安全安心デザイン　子ども部門」より、

【3歳からの『たべたのだあれ？』視力検査キット】
（桃山学院大学　法学部 法律学科 健康教育学分野　高橋ひとみ研究室／株式会社　フレーベル館）

★「子ども視点の安全安心デザイン　一般部門」より、

【エキスパート・ドライバー・サービス】（日本交通株式会社）

【子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン】として

★「子どもの未来デザイン　感性・創造性部門」より、

【京都市立洛央小学校ブックワールドデザインプロジェクト】
（京都大学大学院工学研究科建築学専攻　門内研究室／京都市立洛央小学校）

★「子どもの未来デザイン　学び・理解力部門」より、

【子ども向け車いす用電動アシストユニット「JWX-2　20インチ仕様」】（ヤマハ発動機株式会社）

■優秀賞「少子化対策担当大臣賞」（2点）

【子どもたちを産み育てやすいデザイン】として

★「子どもの産み育て支援デザイン　個人・家庭部門」より、

【空気清浄機付きスティッククリーナー『iNSTICK』】（三菱電機株式会社／三菱電機ホーム機器株式会社）

★「子どもの産み育て支援デザイン　地域・社会部門」より、

【江東湾岸サテライト　SMART NURSERY SCHOOL　本園　テニスの森キャンパス】
（積水ハウス株式会社／社会福祉法人　高砂福祉会）

■優秀賞「消費者担当大臣賞」（1点）

【キッズデザインの3つのデザインミッションのいずれかに基づくテーマデザイン】として、

★「未来を担う消費者デザイン部門」より、

【在来作物で味覚のレッスン】（映画「よみがえりのレシピ」製作委員会／有限責任事業組合 いでは堂）

■優秀賞「男女共同参画担当大臣賞」（1点）

【キッズデザインの3つのデザインミッションのいずれかに基づくテーマデザイン】として

★「女性の活躍を促進するデザイン」より、

【ノムラのソーシャルマーケティングへの取り組み＜チームM＞】（株式会社乃村工藝社）

■他にも、奨励賞「キッズデザイン協議会会長賞」（20点）、特別賞「審査委員長特別賞」（6点）、特別賞「TEPIA特別賞」（1点）の計36作品が受賞しています。36点の受賞作品一覧及び、概要と審査評は次頁からの通りです。

「第9回キッズデザイン賞」 最優秀賞はじめ36作品一覧 - 1/2

＜デザインミッション＞ 部門（応募数、第９回キッズデザイン賞 各賞受賞数） 受賞作品				
受賞賞		品目名	応募者 応募団体名	ページ番号
＜全受賞作品の中から最も優れた作品 （応募数：474点 キッズデザイン賞受賞308点）＞				
最優秀賞	内閣総理大臣賞	ルナ ドリームカプセル プロジェクト	ルナ ドリームカプセル プロジェクト	p.4
＜子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン＞				
子ども視点の安全安心デザイン 子ども部門 応募数：60点、第9回キッズデザイン賞受賞：42点 優秀賞 1点 奨励賞 2点 特別賞 2点				
優秀賞	経済産業大臣賞	3歳からの『たべたのだあれ？』視力検査キット	桃山学院大学 法学部 法律学科 健康教育学分野 高橋ひとみ研究室／株式会社 フレーベル館	p.5
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	誤飲チェッカー	一般社団法人日本家族計画協会	p.6
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	200gでみがける まがる歯ブラシ	株式会社DHL／有限会社アイ･シー･アイデザイン研究所	p.6
特別賞	審査委員長特別賞	スペースウォーカー 「クリムボン」	株式会社ダイナマークス	p.7
特別賞	審査委員長特別賞	ピープルの純国産「お米のおもちゃ」シリーズ白米色	ピープル株式会社	p.7
子ども視点の安全安心デザイン 一般部門 応募数：88点、第9回キッズデザイン賞受賞：64点 優秀賞 1点 奨励賞 2点				
優秀賞	経済産業大臣賞	エキスパート･ドライバー･サービス	日本交通株式会社	p.8
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	Clavinova CLPシリーズ	ヤマハ株式会社	p.9
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	エキッズ	東急セキュリティ株式会社	p.9
＜子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン＞				
子どもの未来デザイン 感性・創造性部門 応募数：98点、第9回キッズデザイン賞受賞：51点 優秀賞 1点 奨励賞 2点 特別賞 2点				
優秀賞	経済産業大臣賞	京都市立洛央小学校ブックワールドデザインプロジェクト	京都大学大学院工学研究科建築学専攻 門内研究室／京都市立洛央小学校	p.10
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	はくすい保育園	社会福祉法人誠友会／山﨑健太郎デザインワークショップ	p.11
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	ヤンマーミュージアム	ヤンマー株式会社／凸版印刷株式会社／株式会社トータルメディア開発研究所	p.11
特別賞	審査委員長特別賞	ハンドスタンプアートプロジェクト	ハンドスタンプアートプロジェクト事務局／障害児のためのシェアハウスをつくるNPO法人	p.12
特別賞	審査委員長特別賞	音遊びツールを活用したコミュニケーション促進のためのワークショップデザイン	国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科永井研究室	p.12
子どもの未来デザイン 学び・理解力部門 応募数：60点、第9回キッズデザイン賞受賞：31点 優秀賞 1点 奨励賞 2点				
優秀賞	経済産業大臣賞	子ども向け車いす用電動アシストユニット「JWX-2 20インチ仕様」	ヤマハ発動機株式会社	p.13
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	小浜こども園	社会福祉法人小浜会／株式会社日比野設計＋幼児の城	p.14
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	コミュニケーション型語学学習プログラム「パレーゴ」	パレーゴ株式会社	p.14

「第9回キッズデザイン賞」 最優秀賞はじめ36作品一覧 - 2/2

受賞賞		品目名	応募者 応募団体名	
＜子どもたちを産み育てやすいデザイン＞				
子どもの産み育て支援デザイン　個人・家庭部門 **応募数：84点、第9回キッズデザイン賞受賞：54点　優秀賞 1点　奨励賞 2点　特別賞 1点**				
優秀賞	少子化対策担当大臣賞	空気清浄機付きスティッククリーナー『iNSTICK』	三菱電機株式会社／三菱電機ホーム機器株式会社	p.15
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	知的・発達障害のある子どもの行動特性に配慮した 住空間の提案	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団／聖学院大学／ 横浜国立大学	p.16
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	Yepp Mini	株式会社ROSSI／GMG bv	p.16
特別賞	審査委員長特別賞	ベビーレーベル　お肉も切れるフードカッター	コンビ株式会社	p.17
子どもの産み育て支援デザイン　地域・社会部門 **応募数：56点、第9回キッズデザイン賞受賞：41点　優秀賞 1点　奨励賞 2点　特別賞 1点**				
優秀賞	少子化対策担当大臣賞	江東湾岸サテライト　SMART NURSERY SCHOOL　本園　テニスの森キャンパス	積水ハウス株式会社／社会福祉法人　高砂福祉会	p.18
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	三井ショッピングパーク　ららぽーと富士見	三井不動産株式会社／株式会社安藤・間／株式会社丹青社／ チームラボ株式会社／株式会社コトブキ	p.19
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	にんじん保育室　船橋総合病院	船橋総合病院／三菱商事株式会社／清水建設株式会社／ フィールドフォー・デザインオフィス	p.19
特別賞	審査委員長特別賞	避難用3人抱きキャリー	日本エイテックス株式会社	p.20
＜上記のデザインミッションのいずれかに基づくテーマデザイン＞				
未来を担う消費者デザイン部門 **応募数：12点、第9回キッズデザイン賞受賞：10点　優秀賞 1点　奨励賞 2点**				
優秀賞	消費者担当大臣賞	在来作物で味覚のレッスン	映画「よみがえりのレシピ」製作委員会／有限責任事業組合 いでは堂	p.21
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	モノ:ファクトリー	株式会社ナカダイ	p.22
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	未来の読者を育てたい —新聞を楽しく学べる施設 おもしろしんぶん館—	株式会社　新潟日報社	p.22
女性の活躍を促進するデザイン **優秀賞 1点　奨励賞 1点**				
優秀賞	男女共同参画担当大臣賞	ノムラのソーシャルマーケティングへの取り組み＜チームM＞	株式会社乃村工藝社	p.23
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	全国の保有不動産を活用したCSV取組 「保育所誘致による待機児童1割解消プロジェクト」	第一生命保険株式会社	p.24
TEPIA特別賞				
特別賞	TEPIA特別賞	小児の身体性を再現するスーツ「CHILDHOOD」による 空間環境のアウェアネス支援	TEAM CHAMPIGNON	p.25
復興支援デザイン部門 **応募数：16点、第9回キッズデザイン賞受賞：15点　奨励賞 5点**				
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	いわき市豊間・薄磯地区防災緑地「どんぐりプロジェクト」	安藤ハザマ・五洋・西武・玉野総合・ 基礎地盤いわき市震災復興事業共同企業体	p.26
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	携帯電話で、東北の子どもたちへ継続的な支援を！	ソフトバンク株式会社	p.26
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	ひさのはま夢あかり2015	ぼんぼり光環境計画／東京都市大学工学部建築学科小林研究室／ 久之浜・大久地区復興対策協議会／久之浜商工会青年部／ 福島県／株式会社エイト日本技術開発	p.27
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	ふれあい森林教室	公益財団法人ニッセイ緑の財団	p.27
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	未来への絆　～みやぎ防災教育副読本～	宮城県教育庁スポーツ健康課／凸版印刷株式会社	p.28

全8部門の中で最も優れた作品

最優秀賞　内閣総理大臣賞　　**展示No.1**

■作品名　　ルナ ドリームカプセル プロジェクト

■企業・団体名　　ルナ ドリームカプセル プロジェクト

《開発の考え方》

世界中の子どもたちの「夢」を詰め込んだポカリスエット型のタイムカプセルを、民間のロケットに搭載して月へ届けるプロジェクトです。ポカリスエットは、このプロジェクトを通じて子どもたちに夢を持って生きることの大切さを伝え、未来を切り拓く子どもたちを応援します。

《仕様》

全国の小学校で実施するルナ・プロジェクト特別授業を中心に、子どもたちに夢と向き合い、将来に向けて創造的な行動をする機会を創出しています。2015年からはアジア各国でも活動を展開しています。

《審査評》

「宇宙と未来」をテーマに子どもたちが夢に向き合うワークショップを通じて作成したメッセージをタイムカプセルに詰め、ロケットで月に届けるという壮大なスケールのプロジェクト。距離や時間を超えた、想像力と創造力の飛躍を感じさせる点が素晴らしく、最優秀賞とした。日本のものづくり企業、米国の宇宙事業企業、研究・検証を担当する大学など幅広い分野の共働である点も貴重である。月への有人飛行が再び可能になると言われる30年後、参加した子どもたちがパイロットになり月からカプセルを持ち帰るというストーリーは、宇宙規模で物事を捉えるという感性につながるだろう。

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

子ども視点の安全安心デザイン 子ども部門

子ども(0～15歳)を直接の対象とする製品、施設、サービスにおいて、安全に配慮されたもの。

優秀賞　経済産業大臣賞　　**展示No.2**

■作品名　3歳からの『たべたのだあれ？』視力検査キット

■企業・団体名　桃山学院大学　法学部 法律学科 健康教育学分野　高橋ひとみ研究室／株式会社　フレーベル館

《開発の考え方》

「弱視を救済するには、視機能の発達が終了する6歳頃までに視力検査を行う必要があります。幼児が楽しみながら、短時間に信憑性のある視力検査を受けられるように、ランドルト環をドーナツに見立てる絵本を作りました。幼児期は近くが見えれば視機能に問題はないので、幼児の検査がしやすい眼前30cmの近見視力検査です。

《仕様》

●絵本:247㎜×247㎜

●簡易版検査台:収納時約364㎜×255㎜

●木製検査台:約500㎜×500㎜×300㎜

《審査評》

乳幼児期は日常的にものを見ることで視力が発達する時期だが、弱視の発見が遅れると脳の映像を理解する働きが鈍り視力の発達に影響を及ぼす場合がある。
これを回避するためには、弱視の早期発見と対策が重要だが、従来のC型のランドルト環による視力検査では乳幼児には左右の表現指示が難しいという課題があった。動物と食べ物をモチーフにしたこのキットは実用的で社会有用性が高い。健全な子どもの発育発達に寄与するデザインとして本部門のテーマにふさわしいと考える。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.3

■作品名　**誤飲チェッカー**
■企業・団体名　**一般社団法人日本家族計画協会**

《開発の考え方》
厚生労働省の発表による子どもの死因順位で0歳児の交通事故を除いた「不慮の事故」の「不慮の窒息」は長年にわたり毎年第1位です。保健師などが親に誤飲予防を口頭で説明しても説得力がないことから、科学的な根拠に基づき、誤飲物を実際にチェックする物があれば説得力のある誤飲防止の啓発ができると思い考案しました。

《仕様》
縦(高さ)　67mm
横(幅)　51mm
奥行き(長さ)　51mm
透明アクリル製

《審査評》
乳幼児の誤飲や異物摂取による窒息事故防止のための計測ツールであり、アナログながら極めて実用的で設計者から家庭での利用まで幅広くその有効性が期待できる。実計測に基づき3歳児の口腔容積を再現しており、容器内に隠れるものは飲み込んでしまう危険性があると判断できる。これを手元に置くことで、発達の過程で乳幼児は何でも口に入れる可能性があることを改めて意識させ、注意喚起がなされる啓発ツールとも言える。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.4

■作品名　**200gでみがける　まがる歯ブラシ**
■企業・団体名　**株式会社DHL／有限会社アイ・シー・アイデザイン研究所**

《開発の考え方》
消費者庁から注意喚起されるなど、乳幼児の歯ブラシによる歯磨き中の事故が問題視されています。そこで、力が加わると歯ブラシのネックやボディが曲がり事故を予防する歯ブラシを開発しました。また、強い力が加わると曲がることで歯や歯ぐきを傷つけない150g～200gで磨け、視覚的に力加減を確認できます。

《仕様》
曲がる歯ブラシ Baby 〔サイズ〕12×125×14mm
曲がる歯ブラシ　〔サイズ〕14×139×14mm
〔材質〕EPDM・ナイロン 〔毛の硬さ〕やわらかめ
〔製造〕日本 〔色〕ピンク・ブルー

《審査評》
子どもが歯ブラシをくわえたまま走って転倒し喉に刺さる事故は年間20～30件も報告がある。状況によっては重篤化するケースもあり、本製品はこの課題に対し素材から見直すことで安全性を高めた良品である。一定の荷重が加わるとネックとボディが曲がり被害の低減につながるとともに、適切なブラシ圧を保ち歯や歯ぐきの傷つきを防ぐ効果も併せ持つ。実用的かつ安全性確保の両立は高く評価できる。

特別賞　審査委員長特別賞

展示No.5

■作品名　スペースウォーカー「クリムボン」
■企業・団体名　株式会社ダイナマークス

《開発の考え方》
未来を担う現代の子どもたちへ、クリムボンを通じて体を動かすことがもっと楽しく熱中して、また継続的に体力増進できる場を提供します。
本格的なコースチャレンジやプレイカードで対戦遊びもできて、運動が苦手な子から得意な子まで幅広い年齢の子どもが楽しみながら持久力やバランス感覚、瞬発力、判断力を育みます。

《仕様》
【ボード】幅80cm高さ182cm厚さ4cm/19kg/鋼板・合板他
【マット】幅80cm奥行き138cm厚さ11cm/10kg/ウレタン他
【レール】アルミ【グリップ】強化樹脂【カード】マグネット
※推奨は4連セット

《審査評》
3歳から小学3年生向けの屋内用のクライミングユニット。危険が伴うスポーツを前提とした、安全性の追求姿勢を評価した。落下する経験を安全に積めることは子どもの身体感覚を養う上で有効である。

特別賞　審査委員長特別賞

展示No.6

■作品名　ピープルの純国産「お米のおもちゃ」シリーズ白米色
■企業・団体名　ピープル株式会社

《開発の考え方》
何でもなめて遊ぶ赤ちゃんのため、原料に純国産米を51%使用した「お米のおもちゃ」です。素材のお米には、備蓄米や資源米を使用し、製造地も全て日本国内。赤ちゃんにも環境にも優しいおもちゃです。
商品からは香ばしいお米の香りがします。赤ちゃんには少し高価でも安心なものを、という現代のニーズに応えた商品です。

《仕様》
赤ちゃんが持ち易く遊び易いデザインは勿論「無塗装」「角の丸い安心設計」「ネジ等が口や肌に当たらない工夫」にこだわりました。お誕生から長く楽しめます。(つみき：全32ピース、セット：歯がため等計4品入)

《審査評》
国産米を主原料とするバイオマス活用型玩具で乳児がなめても安心である。仕上げの細かな配慮も見て取れ、玩具づくりを通じた持続可能な社会づくりのメッセージに共感する。

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

子ども視点の安全安心デザイン 一般部門

子どもを含めた一般向けの製品、施設、サービスにおいて、子どもが接触する可能性があるもので、安全に配慮されたもの。

優秀賞　経済産業大臣賞　　**展示No.7**

■作品名　エキスパート・ドライバー・サービス

■企業・団体名　日本交通株式会社

《開発の考え方》

単なる、お子様の送迎ではなく、お客様が求められるニーズ、期待を上回るサービスの提供を考え、顧客満足度を示す重要なKPI（重要業績評価指標）を、お客様から頂ける「ありがとう」を目標にしたサービスの提供を目的に開発。

《仕様》

＊事前予約制

＊1時間￥5，270（税込み）30分毎￥2，420

＊全車新生児対応チャイルドシート標準装備

＊ベビーカーや大きな荷物でも安心して利用できる車両

《審査評》

子どものみ、又は妊娠中や子連れの際の移動を安全かつ快適に行ないたいという要望は多い。
サービスを担うドライバーが、保育士経験や小児救命講習を受けたエキスパートであると同時に、顔なじみになるという「記名性」が特に重要で、このおかげで安心感はかなり高まるはずである。
公共交通における安全性の一層の拡充と個人利用としてのこうしたサービスの向上の補完関係で、子ども・子育て層の安全な移動が実現していく。高まる社会的ニーズに応え得るものとして評価した。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.8

■作品名 Clavinova CLPシリーズ
■企業・団体名 ヤマハ株式会社

《開発の考え方》
子供のレッスン練習や大人の趣味演奏に多く使われる為、安全性はもちろん、音楽教室やホールのアコースティックピアノと比べて違和感がないように、音の響き、鍵盤タッチ、ペダルの踏み心地、そしてデザインまで調和させ、演奏者がアコースティックピアノさながらの演奏感を感じられる「ピアノらしい形」を目指している。

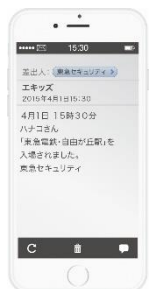
《仕様》
アコースティックピアノと同等の演奏姿勢(譜面板との関係性)/作法(回転式鍵盤蓋:CLP-585)/環境(操作パネルを演奏視野外)を実現。指挟み防止ダンパー搭載の回転式鍵盤蓋。高さ調整可能な昇降椅子。

《審査評》
アップライトピアノと同等の操作性や視認性を持ちながら、家庭内使用を前提として、演奏者のみならず周囲にいる子どもにも配慮した安全設計を評価した。現代の電子ピアノのスタンダードを目指した開発姿勢が随所に読み取れ、トータルで完成度の高い製品である。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.9

■作品名 エキッズ
■企業・団体名 東急セキュリティ株式会社

《開発の考え方》
バス・世田谷線では、専用閉域網を利用した高いセキュリティや通信圏外中の情報再取得の仕組みに注力しました。キッズプラスでは、相互直通・乗換の利用動線を精査し、東急の交通インフラ網上の「線」の見守りでカバーできていないエリアをキッズプラス端末の「点」の組合せにより沿線全体を「面」として覆いました。

《審査評》
社会基盤である交通インフラを扱う業種ならではの面的な取り組みである点を評価した。乗り継ぎ先やバスなど子どもの行動範囲や動線に基づいたきめ細かな見守り機能は、子どもの安全を脅かす事件が多い現代において、移動の安全を確保することができ、社会的ニーズは高いものと考える。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

子どもの未来デザイン　感性・創造性部門

子どもの創造性、感性、五感を育み、自らが進んで創造的な行為に取り組むことを促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

優秀賞　経済産業大臣賞

展示No10

■作品名　京都市立洛央小学校ブックワールドデザインプロジェクト

■企業・団体名　京都大学大学院工学研究科建築学専攻　門内研究室／京都市立洛央小学校

《開発の考え方》

21世紀を生き抜く力を育むアクティブ・ラーニングを可能にする革新的なブックワールドを創り出すために、子ども主体のデザインプロセスを展開し、さまざまなアイデアを物語世界で統合する多層構造からなる意味の豊かな空間をデザインするとともに、子どもたちの創造力を育むデザインプロセスを実践することを目指した。

《仕様》

読書・鑑賞・演劇・創作・発表などの多様な活動が展開できるように、台形テーブル、てんとう虫型テーブル、カラフルな椅子やクッション、スクリーン、本棚、図書カウンター、ステージトンネル等の環境を整備した。

《審査評》

既存の図書スペースを改修するにあたり、本を読むだけでなく、鑑賞・体験・展示・創作・発表など多様なアクティブ・ラーニングを実践する空間構成を完成させた。空間デザインのクオリティも素晴らしいが、ワークショップを通じ、子どもたちが企画から設計・デザインまで主体的に関わるというプロセスは自分たちが欲しかったスペースをクリエイトする行為に他ならない。プロセスを重視した、創造性を育むデザインアプローチである点を高く評価した。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.11

■作品名　はくすい保育園
■企業・団体名　社会福祉法人誠友会／山﨑健太郎デザインワークショップ

《開発の考え方》
子供たちは「大きな家」で、この地域にかつてあった農家住宅のように過ごす。つまり、すべて子供たちが同じ空間を意識できる空間構成とした。極力死角をつくらないことを最優先とし、段差の安全対策などは必要最低限にとどめている。事業主が特養で長年培った「先回りしない福祉」という理念をこの保育園でも継承した。

《仕様》
敷地は南に緩やかに傾斜しており、それをそのまま利用して階段状に保育室を配置した。間仕切りで保育室をつくらず、斜面にそった床を配置し、段差によって保育室を規定した。

《審査評》
丘陵地の高低差を活かし、地域の記憶を留めつつも、子どもたちの感性を育む独創的な空間としてデザインされた園舎であり、本部門のテーマにふさわしいものとして評価した。見守りやすさや自然換気など基本的な機能を押さえつつ、制約ある敷地条件にも関わらず、ひとつの空間としての完成度の高さがある。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.12

■作品名　ヤンマーミュージアム
■企業・団体名　ヤンマー株式会社／凸版印刷株式会社／株式会社トータルメディア開発研究所

《開発の考え方》
ミッションは「ここにしかない展示・体験を通じて、すべての来館者にチャレンジする楽しさを伝え、"感動"と"元気"を持ち帰ってもらう」こと。子供達が楽しみながら体験・学習できる展示、展示と連動するワークショップを開発しました。ヤンマーOBボランティアによるものづくりの本質に触れる解説も充実しています。

《仕様》
都市・大地・海洋という3つのフィールドに沿った展示構成。目玉は、搭乗可能な農業機械、プレジャーボートを用いたシミュレーター、ミニショベル操縦体験等。屋上ビオトープやエネルギーを学習する足湯をも設置。

《審査評》
農業機械や建設機械の実機に触れられるとともに、農業・環境をテーマにしたワークショップなどを通じて複層的に学べる施設で、そのスケールの大きさは子どもの驚きと好奇心を大いに刺激するだろう。施設のある長浜の町並みの特徴を取り入れた外観、テーマ性のある空間デザインも良い。

特別賞　審査委員長特別賞

展示No.13

■作品名　ハンドスタンプアートプロジェクト
■企業・団体名　ハンドスタンプアートプロジェクト事務局／障害児のためのシェアハウスをつくるNPO法人

《開発の考え方》
病気や障がいとたたかう18歳以下のお子さんのハンドスタンプを集めて、ギネス記録となる世界一の大きな絵を描き、東京パラリンピックのオープニングセレモニーでの掲示を目標としています。そのプロセスを通じて、孤立を無くすコミュニティを構築し、障がいの有無に関らず住みやすい環境作りを継続的に行ってゆきます。

《仕様》
ハンドスタンプは手でなくても足でもお尻でも、ほっぺでも構いません。1人1人異なる病気や障がいに関わらず、子ども達が誰でも参加でき、その重なりを広げてゆきたいと思っています。

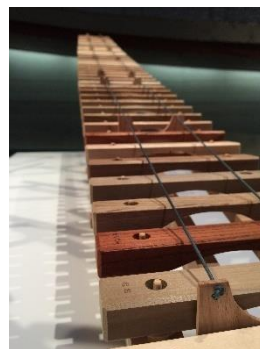
《審査評》
ひとつのゴールを目指して障がい児の手形などを集めて巨大アートを制作する、思いの可視化プロジェクトである。国際的な視野をもつ優れた創作・啓発プラットフォームとして評価した。

特別賞　審査委員長特別賞

展示No.14

■作品名　音遊びツールを活用したコミュニケーション促進のためのワークショップデザイン
■企業・団体名　国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科永井研究室

《開発の考え方》
コミュニケーションを苦手とする子どもが増える昨今、「音」の力でお互いの心の壁を乗り越え自発的な交流が進むよう配慮した。音の知識の差、楽器操作の技術の差に左右されることなく音遊びを楽しめるよう本教材の構造とワークショップの運用方法を研究し、音を通じて子どもたちが共通の達成感を創出できるようにしました。

《仕様》
鍵盤の長さが同じで木の種類で音が異なる取り外し可能な鍵盤と、連結可能な特殊な階段式鍵盤台からなる。鍵盤を並べて上部から落とした玉が転がり半自動的に曲を奏でることのでき、台を連結して他の子どもと繋がれる。

《審査評》
樹種ごとに異なる打音の違いを活かした階段式鍵盤を開発。創造力とコミュニケーション能力向上の教育プログラムで、トータルのデザインクオリティが高く、木育、音感教育に効果を発揮するだろう。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

子どもの未来デザイン　学び・理解力部門

子どもが地域社会、歴史、伝統工芸などをはじめ、様々な知識の取得や、運動力の向上、スポーツへの参画を促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

優秀賞　経済産業大臣賞

展示No.15

■作品名　子ども向け車いす用電動アシストユニット「JWX-2　20インチ仕様」

■企業・団体名　ヤマハ発動機株式会社

《開発の考え方》

障がいのある子どもに「自分で漕げる・行ける・できる」喜びを提供するため、子供用車いすに取り付ける電動アシストユニットを開発。小さな力でもスムーズに走行でき、手動の車いすと同じ操作でアシストが働くよう考慮した。また、さまざまな形状の車いすに装着できるよう、ユニットの取り付け面をフラットに設計した。

《仕様》

重量:15.0kg、補助電動機型式:ACサーボモーター、制御方式:マイクロコンピュータ制御、駆動方式:後輪直接駆動、操舵方式:左右ハンドリム操舵、アシスト速度範囲:0～6km/h未満

《審査評》

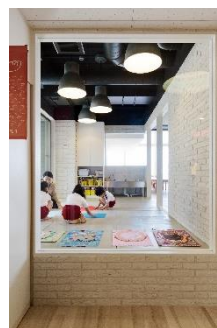
車いすを使う子どもたちの活動範囲を広げ、経験や体験の機会を増やすデザインとして社会提案性が高いものである。自分で操作することを促しつつ、負担の大きな場所では電動アシストで補完することで、運動能力の維持向上につなげている。ひとりで移動できる喜びは、より広い世界を知りたいという心の発育にも好影響をもたらすはずである。多様な既存製品に取り付け可能な汎用性、経済性から普及に貢献することが期待できる。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.16

■作品名　小浜こども園
■企業・団体名　社会福祉法人小浜会／株式会社日比野設計＋幼児の城

《開発の考え方》
子どもたちの活動が元々活発で、雨天時にも園舎内で体を使った様々な動作が生まれるような場所づくりを求められました。また、教室で行われていたアート活動を分かりやすく見えるようにしたり、食育や地域開放・保護者参加を生むためのダイニングの創設や食の見える化を求められ、それらを解決するデザインをしています。

《仕様》
敷地面積2704.36㎡、延べ 面積1458.38㎡、鉄骨造・地上2階建て、
定員240名（0～5歳）

《審査評》
海を臨む素晴らしいロケーションに子どもの身体性やアート感覚を育む仕掛けが随所に見られる、まさにリテラシー保育を体現する空間になっている。子どもの動きや創造行為自体がこの空間を構成する場面のひとつであり、記憶に刻まれる時間を過ごすことができるだろう。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.17

■作品名　コミュニケーション型語学学習プログラム「パレーゴ」
■企業・団体名　パレーゴ株式会社

《開発の考え方》
英語を学習する生徒は、相手に何を伝えてよいか、書いた英文が正しいか分かりません。当社独自のパレーゴシステムは語学力や興味に応じた例文を日英両方で表示・選択でき、単語を並び変えて正しく個人的な英文を作成、どこでも円滑なコミュニケーションができるWebアプリとして開発しました。

《仕様》
気軽に海外同年代と友達になれる日豪の同年代学習方式
パレットを活用した双方向コミュニケーションで画面上でリアルタイムに意思疎通可能
子供の身元がはっきりした安全なゲートウェイコミュニティ

《審査評》
メールと英文作成支援ツールによる英語学習プログラムだが、交流を通じて文化や考え方の違いに気づける良質なコミュ二―ションモデルである点が良い。英文作成を容易にすることで伝えたいことや相手への応対が、気持ちのままに表現しやすい。言語、コミュニケーション、グローバル学習の先進的な仕組みとして評価した。

子どもたちを産み育てやすいデザイン

子どもの産み育て支援デザイン　個人・家庭部門

**主に子育ての当事者である親・個人(妊婦含む)が使用、利用し、
安全かつ楽しく育児に取り組める工夫や心理的な負担・不安を軽減する工夫がなされたもの。**

優秀賞　少子化対策担当大臣賞　　**展示No.18**

■作品名　空気清浄機付きスティッククリーナー『iNSTICK』

■企業・団体名　三菱電機株式会社／三菱電機ホーム機器株式会社

《開発の考え方》

似た掃除機が多く「何を買っていいか分からない」というユーザーの声の背景には、個々に違う掃除スタイルや意識の差がありました。子供や家族の健康を想い「部屋をキレイにしたい」と思う反面、「掃除機を出すのが億劫」という行動の矛盾を解決し「これが欲しい」と思ってもらえる製品を目指しました。

《仕様》

製品サイズ　：　高さ1,087mm×幅250mm×奥行き252mm

製品重量　　：　総質量4.7kg(クリーナー本体2.1kg)

《審査評》

妊娠・出産を経た母親の身体的負担を軽減し、産後ケア支援を製品アプローチで提案した家電として高く評価した。室内に常時設置する空気清浄機と、子どもの食事や遊びのたびに掃除をするため使用頻度の高いクリーナーを一体化することで、いつでも手軽に掃除ができる。清掃時に発生する排気対策など室内空気環境の改善と家事負担の軽減を両立させた独創的かつ実用性の高い家電である。クリーナーはコンパクト設計で子どものお手伝いにも適している。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.19

■作品名　知的・発達障害のある子どもの行動特性に配慮した住空間の提案
■企業・団体名　社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団／聖学院大学／横浜国立大学

《開発の考え方》
近年、高齢者や身体障害者の住環境整備については技術が蓄積され、その住まいの安全性は飛躍的に向上した。しかし、知的・発達障害のある子どもの住まいについては、その実態さえも把握が不十分な状況である。そこで、調査を実施し、エビデンスに基づいて知的・発達障害のある子どもの安全な住まいの提案をおこなった。

《審査評》
知的・発達障がいのある子どもにとっての住空間内リスクに焦点を当てた詳細な実態調査はこれまで存在しておらず事故予防の面でも課題があった。アンケートと訪問調査による家庭内事故の実態把握と回避策をまとめた啓発パンフレットの発行など、社会的有用性が高い。本知見に基づく公共空間における同様の提案など今後の展開にも期待する。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.20

■作品名　Yepp Mini
■企業・団体名　株式会社ROSSI／GMG bv

《開発の考え方》
Yepp Miniは小さなお子様が安全で快適に、お母様が簡単に装着出来、ご使用頂ける様にという思いで開発された商品です。その開発理念が、素材の選択、デザイン、シンプルな構造に繋がりました。同時に通常のベビーシートに使用されているクッションは不要です。付属のハンドルバーは、お子様が安心して握れます。

《仕様》
耐荷重:お子様体重15kg
【本体サイズ/mm】シート幅:320/シート高さ:330/座面幅:260/座面奥行180
重さ/3.5kg　調整可能5点ベルト　5段階調整フットレスト
合成樹脂素材　全13色

《審査評》
柔らかく衝撃を吸収する素材の採用により、安全性を確保しつつ軽量化と小型化に成功した自転車ベビーシートでスタイリッシュなデザインが印象的だ。豊富なカラーバリエーションも産み育て支援製品の選択肢を増やすという点で好感が持てる。

特別賞　審査委員長特別賞

展示No.21

■作品名　　ベビーレーベル　お肉も切れるフードカッター
■企業・団体名　　コンビ株式会社

《開発の考え方》
乳幼児が食べやすい大きさに食材をカットするためのフードカッター。
切れ味を向上させる構造「ミートカットウィング」により、麺類・から揚げ・
ささみ・キャベツ・ブロッコリーなどの加熱した食材をカットすることができる。
継ぎ目がない洗いやすいフォルム。お出かけにも便利な、コンパクト
サイズ・専用ケース付き。

《仕様》
【対象月齢】7ヵ月頃～
【寸法】フードカッター：104×52×17.5mm/ケース：117.5×64.5×23mm
【材質】ポリプロピレン
【耐熱温度】フードカッター：140℃/ケース：110℃

《審査評》
さまざまな食材を乳幼児が食べやすいサイズに切るための道具。外出時の使用を想定した機能性・利便性・安全性への工夫が凝らされている。特化されたキッズデザイングッズとして実用性を評価した。

子どもたちを産み育てやすいデザイン

子どもの産み育て支援デザイン　地域・社会部門

**保育園、学校、自治体、地域などの施設で使用され、複数の子どもや親を対象とした、
安全かつ楽しい妊娠出産や子育てを支援する工夫がなされたもの。**

優秀賞　少子化対策担当大臣賞　　**展示No.22**

■作品名　江東湾岸サテライト　SMART NURSERY SCHOOL　本園　テニスの森キャンパス

■企業・団体名　積水ハウス株式会社／社会福祉法人　高砂福祉会

《開発の考え方》

都市部における保育についての諸問題を解決する「サテライト保育」を採用。自然と触れ合う機会が減少している東京の子どもたちの成育環境の質の向上を目指し、生活の中で湾岸の自然が感じられる仕掛けを施した。非常時にはエネルギー・水・食料を確保し防災拠点となる機能を備え、子どもたちの生活と安全を守っている。

《仕様》

○敷地面積：2521㎡　○建築面積：1013．15㎡　○延床面積：1885．75㎡
○構造規模：鉄骨造2階建　耐火構造（積水ハウスβシステム工法）　○建物用途：江東区認可保育所

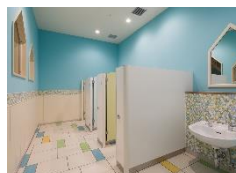
《審査評》

大型ショッピングモールに隣接し送迎に便利な分園と、子どもが伸び伸び過ごせる本園を送迎バスでつなぐという方式は、これからの都市型の保育施設のあり方として社会提案性が高い。本施設においては、湾岸沿いの立地を活かした空間構成、子どもの安全のみならず地域の防災拠点として機能する点も優秀である。変貌する東京の姿を目の当たりにしながらの成長は、子どもたちにとってかけがえのない経験になる。地域における社会課題の解決策を凝縮した好例として高く評価した。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞　　展示No.23

■作品名　三井ショッピングパーク ららぽーと富士見
■企業・団体名　三井不動産株式会社／株式会社安藤・間／株式会社丹青社／チームラボ株式会社／株式会社コトブキ

《開発の考え方》
『子育て世代にやさしく、楽しく利用できる施設』をコンセプトに、パパ&ママの要望を反映した各種機能の充実や、キッズトイレ・オムツ替え室・授乳室・お子様連れ専用の食事スペースといった空間の整備を実施しました。また、子どもたちと楽しく遊べて、大人もわくわくするような場所や仕掛けを各所に計画しました。

《仕様》
■開発面積：176,978㎡　■建築面積：58,961㎡
■延床面積：183,858㎡　■商業棟　構造・階数：鉄骨造・4階（店舗は1階～3階）　■店舗数：293店舗

《審査評》
多年齢の子連れ客が来場する商業施設において子ども・子育て視点の空間・設備として何を提供すべきかの方向性が明確である。子どもの成長に合わせた空間づくりに注力しており、各企業の専門領域で培ったノウハウが結集されている。大規模施設の産み育て支援のモデルとして良質な先行例となりうるデザインである。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞　　展示No.24

■作品名　にんじん保育室 船橋総合病院
■企業・団体名　船橋総合病院/三菱商事株式会社/清水建設株式会社/フィールドフォー・デザインオフィス

《開発の考え方》
にんじん保育室は船橋総合病院で昼夜働くスタッフのための24時間対応院内保育室。病院のシンボルマークはにんじん。「明るく、健康的で、親しみやすい」という思いが込められている。この思いをデザインに展開した。医療現場の看護師不足が社会問題となるなか、こどもを育てながら働きたいと思えるそんな施設を目指した。

《仕様》
総合元請：三菱商事、基本設計・実施設計監修：伊藤喜三郎建築研究所/アール・アイ・エー設計共同企業体、実施設計・監理：清水建設、施工：清水建設、インテリア：フィールドフォー・デザインオフィス

《審査評》
24時間交代勤務の看護師の95％は女性であり、妊娠出産を機に仕事を辞める人は3割と言われる。ハードワークが求められる職員に質の高い24時間対応の保育サービスを提供し、地域医療の安定と職員の子育て支援を目指した社会有用性の高い取り組みである。更衣室から子どもの様子を確認できる空間づくりなど細かな配慮も良い。

特別賞　審査委員長特別賞

展示No.25

■作品名　避難用3人抱きキャリー
■企業・団体名　日本エイテックス株式会社

《開発の考え方》
被災地の保育園の強い要望から、ベビーカーなどが使用できない場合でも保育士1人で3人の子供をしっかり確保し避難ができる避難補助具を開発。防炎素材のベストタイプで誰でも簡単に装着でき、避難時に足元が見えやすいよう背中と両脇で子供を支えるスタイル。災害時にすぐに取出せる壁掛用収納袋付き。

《仕様》
・本体サイズ：縦70×横90×奥行き5cm
・重さ：860g
・材質：ポリエステル
・セット内容：本体、収納袋、取扱説明書
・日本製

《審査評》
できるだけ多くの子どもたちを連れて安全に避難するための補助グッズとして実用性を評価した。着用者の負担軽減も工夫され、乳幼児が多く集まる施設等での常備が望まれる必需品である。

キッズデザインの3つのデザインミッションのいずれかに基づくデザイン

未来を担う消費者デザイン部門

小中学生（６～１５歳）を対象とし、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組み、社会環境づくりなどで、新たな発想、工夫、手法があるもの。

優秀賞　消費者担当大臣賞

展示No.26

■作品名　在来作物で味覚のレッスン

■企業・団体名　映画「よみがえりのレシピ」製作委員会／有限責任事業組合 いでは堂

《開発の考え方》

核家族化などにより地域の食文化の継承が難しくなっている。貴重な食文化が失われれば、生産者が減り、貴重な食材が失われてしまう。味覚の発達が著しい10歳前後のこどもを対象に、地域の食材を五感を通して味わうことを学ぶ機会を提供する。感性教育を地域の食材で育むことで、末永く在来作物が継承されていくことを期待している。

《仕様》

エコロジカルな食のあり方を学ぶことは、地域の歴史や文化を知るきかっけにもなる、最終的には「食の記憶」をデザインしていくことを目指している。

《審査評》

在来作物の価値を紹介するドキュメンタリー映画の巡回上映と各地域の在来作物を用いた味覚の食育ワークショップを組み合わせた取り組みで、地域での生産・加工・消費に至るサイクルを伝えるプログラムとして本部門の主旨に応えた提案であると評価した。子どもの味覚を守るとともに、地域の食文化を担う貴重な食材を作る農家の支援、生産者を支えるコミュニティづくりをめざす活動は、地域での消費を促進し、健全な消費者育成につながる良質な提案である。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.27

■作品名　　**モノ:ファクトリー**
■企業・団体名　　**株式会社ナカダイ**

《開発の考え方》
廃棄物処分場は決して汚いところではなく、見たこともない素材にあふれ、世の中のモノの流れを学ぶことが出来る魅力的な場所です。
モノ:ファクトリーが展開する様々な素材を使ったモノづくり・解体ワークショップや工場見学、リサイクルツアーなどの体験により、廃棄物の魅力を伝え、学びと楽しさを提供しています。

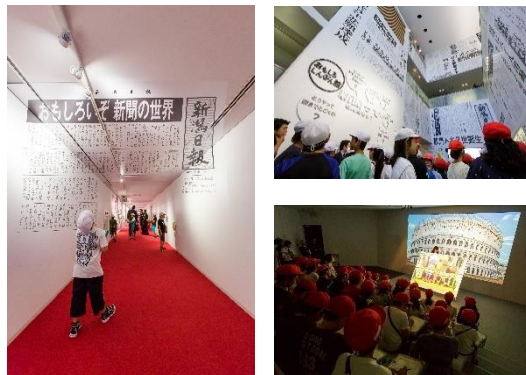
《審査評》
消費とは、与えられたものを購入し使うだけでなく、製品の価値を自ら考えることでもあることに気づかせてくれる良質な取り組みである。モノの成り立ちから捨て方、価値の再発見までを体験的に学べる場であり、各フェーズにおいてクリエイティビティの要素も高い。ストーリー性のある一連の活動を高く評価した。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.28

■作品名　　**未来の読者を育てたい一新聞を楽しく学べる施設 おもしろしんぶん館一**
■企業・団体名　　**株式会社　新潟日報社**

《開発の考え方》
子どもたちに楽しくわかりやすく“新聞のおもしろさ、有用さ”を伝える展示施設です。
「新聞離れ」が社会問題化しているなか、「未来読者」育成のために企画しました。親しみやすい空間デザイン、体験を中心とした展示ストーリーで、子どもたちが生まれて初めて新聞に触れ、興味を持つきっかけを提供しています。

《仕様》
地上3F建て、延べ床面積1300㎡

《審査評》
デジタルメディアが注目されがちな現代において、新聞の価値や製作プロセスを展示や体験によって学ぶ、地域に根差した地方紙ならではの意欲的試み。新聞を通じた教育は活字を読み解く力の育成にもなり、子どもにとって日々の情報リテラシーの向上に寄与するはずである。

女性の活躍を促進するデザイン

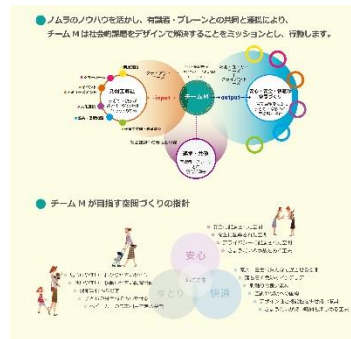
本年新設！　**優秀賞　男女共同参画担当大臣賞**　**展示No.29**

男女共同参画担当大臣賞とは・・・産前産後、子育て期の男女が、子どもを産み育てながら、社会参加しやすい環境づくりを促す取り組みの中で特に優秀と認められた作品に授与されます。

■作品名　　**ノムラのソーシャルマーケティングへの取り組み＜チームM＞**

■企業・団体名　　**株式会社乃村工藝社**

《開発の考え方》

乃村工藝社チームMは、すべての子どもと子どもに関わる人々のより良い未来へ向けた「安心・安全・心地良い環境」を創造するために発足したプロジェクトです。子どもと共にすごす空間に、仕事と育児との経験から見えてくる気づきを活かし、豊かな経験と対話が生まれる仕組みを持った空間と活動をデザインします。

《審査評》

子育て中の女性社員が部署横断でチームを編成し、子連れで外出しやすい空間や理想的な保育施設の提案を行なう社会有用性の高い取り組みである。育児経験を本業に活かすことで、社会における子育て環境の細かなニーズにも応えることに成功しており、この活動の成果として、同社では育休後の高い復職率を継続している。女性の活躍促進というテーマに最もふさわしいものとして高く評価した。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.30

■作品名　全国の保有不動産を活用したCSV取組「保育所誘致による待機児童1割解消プロジェクト」

■企業・団体名　第一生命保険株式会社

《開発の考え方》

待機児童が解消しない要因として、保育所ニーズの高い住宅地等に賃貸不動産が少ないことが挙げられます。第一生命は全国にテナントビルや営業所ビルを保有しており、この様な保有不動産へ保育所を誘致することで、全国待機児童の1割（2,500名）解消を目指すと共に、不動産賃貸事業として収益性を追求しています。

《審査評》

待機児童解消への障壁のひとつに、保育所ニーズが高い住宅地等に物件が少ないという状況がある。
国内有数の不動産所有企業である同社が自社物件に保育所を積極的に誘致し、子育て夫婦が働きやすい環境創出に貢献している。同社は職員の女性比率が9割を超える企業でもあり、待機児童問題に対して高い意識を持っている。社会的ニーズの高いエリアへの保育所誘致はまさに子育て環境の質の向上に寄与するものと考える。

TEPIA特別賞

展示No.31

TEPIA特別賞とは・・・TEPIA（一般財団法人高度技術社会推進協会）が奨励する子ども目線による先端技術と社会の関わりの理解を目的とする作品の中で最も優秀と認められた作品に授与されます。

■作品名　小児の身体性を再現するスーツ「CHILDHOOD」による空間環境のアウェアネス支援
■企業・団体名　TEAM CHAMPIGNON

《開発の考え方》
大人の身体を子供の身体に変換できれば、大人の知識を持って子供目線で空間環境を体験することができるのではないか、と考え、子供の視点を再現する装着型デバイスと子供の手を再現する手指外骨格を開発しました。既存の実在する環境や人とのインタラクションを通して、大人が子供の感じる世界を理解することを支援します。

《仕様》
使用者は頭部にヘッドマウントディスプレイを、腰部にカメラベルトを装着することで子供の視点を体験できます。また、手に手指外骨格を装着することで、子供の手を通して物の掴み易さなどを確かめる事ができます。

《審査評》
子どもたちの視覚認識や手の動きをリアルタイムで疑似体験できるキッズデザイン製品開発に資する提案として評価した。子どもの目の高さに相当する腰部に装着した小型カメラで捉えた映像をゴーグルで見る手法は、子ども視点での気づきや危険源発見に寄与するツールとして有効である。

キッズデザインの3つのデザインミッションのいずれかに基づくデザイン

復興支援デザイン部門

東日本大震災の被災地へ向けた復興支援の取り組み・活動で、子ども視点のあるもの。
被害地の子どもたちが安心して笑顔のある暮らしを一日でも早く取り戻すことに寄与する取り組み。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞　　展示No.32

■作品名　いわき市豊間・薄磯地区防災緑地「どんぐりプロジェクト」
■企業・団体名　安藤ハザマ・五洋・西武・玉野総合・基礎地盤いわき市震災復興事業共同企業体

《開発の考え方》
福島県いわき市の復興事業として、豊間・薄磯地区で復興市街地の整備を行う中、その整備で伐採される里山の樹木の種子であるどんぐりを拾い、苗木を育て新たにつくる防災緑地に植栽することで地域の里山を再生しようという取り組みが「どんぐりプロジェクト」です。地元や神奈川の小中学校の子どもたちが参加しています。

《仕様》
「どんぐりプロジェクト」への取り組みをきっかけに地域の将来を担う子どもたちが大人になったとき、自分たちが育てよみがえらせた里山の樹木が茂る防災緑地に「ふるさと」を感じてくれることを期待しています。

《審査評》
被災地における将来のふるさとづくりに、子どもたち自らが関わる意義ある取り組みである。里山を歩き、どんぐりを集め、苗木に育てる。それが地元を守る新たな防災緑地の木々となるという貴重な体験は、愛郷心の育みにもつながるだろう。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞　　展示No.33

■作品名　携帯電話で、東北の子どもたちへ継続的な支援を！
■企業・団体名　ソフトバンク株式会社

《開発の考え方》
復興支援は時間を要しますが、寄付の95％は震災直後に集中すると言われており、長期的な活動資金確保が社会課題になっています。
そこで、最も身近な携帯電話を使った継続的な寄付サービスを提供すると共に、活動報告を公開することで記憶の風化防止に努め、被災地にも「震災を忘れない」というメッセージを届けています。

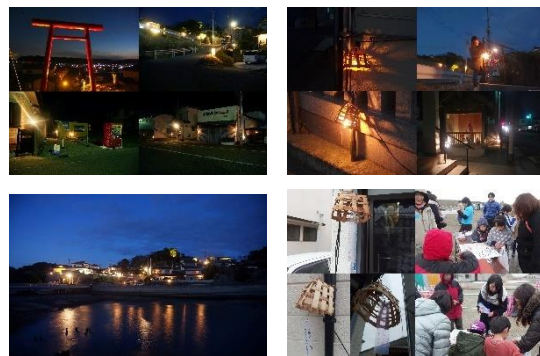
《仕様》
東日本大震災被災地の子どもたちへ継続的な支援を行うため、毎月の基本使用料にプラス10円をお客さまからいただき、ソフトバンクも10円を加えた、計20円を毎月寄付するオプションサービスです。

《審査評》
募金プログラムの新たな仕組みを構築し、継続性という課題を解決している点に提案性がある。毎月の使用料支払を定期的な窓口とし、募金後の活用報告を特設サイトで見える化することにより、自らのコミットメントを可視化している点が良い。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.34

■作品名　ひさのはま夢あかり2015
■企業・団体名　ぼんぼり光環境計画／東京都市大学工学部建築学科小林研究室／久之浜・大久地区復興対策協議会／久之浜商工会青年部／福島県／株式会社エイト日本技術開発

《開発の考え方》
まちづくり夜間景観整備に向けて、子供たちが参加することで、地域に根差した照明性能計画が整備が実現できる。復興グランド計画に基づく新たな街は子供たちが作り上げた事ともなる。小さなあかりをまち中に点在させ、そこに子供たちの久之浜に対する「思い」を言葉で展示することで地域住民の意識が向上した。

《審査評》
住民参加によるまちづくりプロジェクトで、地域全体のグランドデザインへの参加性が高い。参加した子どもたちを中心としたワークショップが高台避難誘導や防犯に対する実用性や住民の防災意識向上に貢献している点を評価した。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.35

■作品名　ふれあい森林教室
■企業・団体名　公益財団法人ニッセイ緑の財団

《開発の考え方》
東日本大震災発生を受けた復興支援事業を長期的視点に立って取り組むことを決め、現地の団体の協力も得ながら、被災地の子どもとその保護者に“ニッセイ利府の森”（宮城県利府町）で自然と触れ合う機会を提供することにより、PTSDの軽減や自然と人とのつながりを体感することを目的に開催することとした。

《審査評》
財団が保有する森を長期的視点にたった支援のフィールドとして設定している。NPOとの協力体制により、年々変わり行く被災者の状況を配慮しながらプログラム内容を工夫しての年4回実施、4年目を迎えた継続性は評価できる。

奨励賞　キッズデザイン協議会会長賞

展示No.36

■作品名　未来への絆　～みやぎ防災教育副読本～
■企業・団体名　宮城県教育庁スポーツ健康課／凸版印刷株式会社

《開発の考え方》
東日本大震災を経験した宮城県の子どもたちが、将来どのような災害にあっても、自分の命を守り、共に助け合い、生き抜くことができるように、防災について考え、行動し、きずなを大切にしていけることを願って作成された冊子。小学生の発達段階に応じた表現手法となっており、子どもたちの防災意識の内面化を図っている。

《仕様》
A4版・約60ページ・オールカラー・3種

《審査評》
小学校低・中・高学年用の3分冊となっており、成長に合わせた防災学習に活かすことができる。震災の教訓を踏まえて県が策定した学校安全基本指針を教材化したもので、すでに授業で使用されている実績がある。全編がインターネットで公開されているので、他県でも参考になる。

★9月中旬には第1回から第9回のキッズデザイン賞受賞作品が検索可能なサイト
（http://www.kidsdesignaward.jp/search/）がオープンします。
キーワード検索や分野別、キッズデザインのミッション別など様々な条件検索ができるサイトです。
ぜひご高覧くださいますようお願い申し上げます。

＜応募企業様からのお問い合わせ先＞

キッズデザイン協議会　事務局

Tel：03-5405-2141（平日 10：00～17：00） / Fax：03-5405-2143 / E-mail：info@kidsdesign.jp

＊受賞作品の画像素材のご要望等につきましては、下記、広報事務局までお問合せ下さい。＊

＜本資料に関する報道関係の方からのお問い合わせ先＞

『第9回キッズデザイン賞』広報事務局（フロンティアインターナショナル内）
担当：橋本・森・千葉
Tel：03-5778-4844／ Fax：03-3406-5599／E-mail：frontier-pr@frontier-i.co.jp